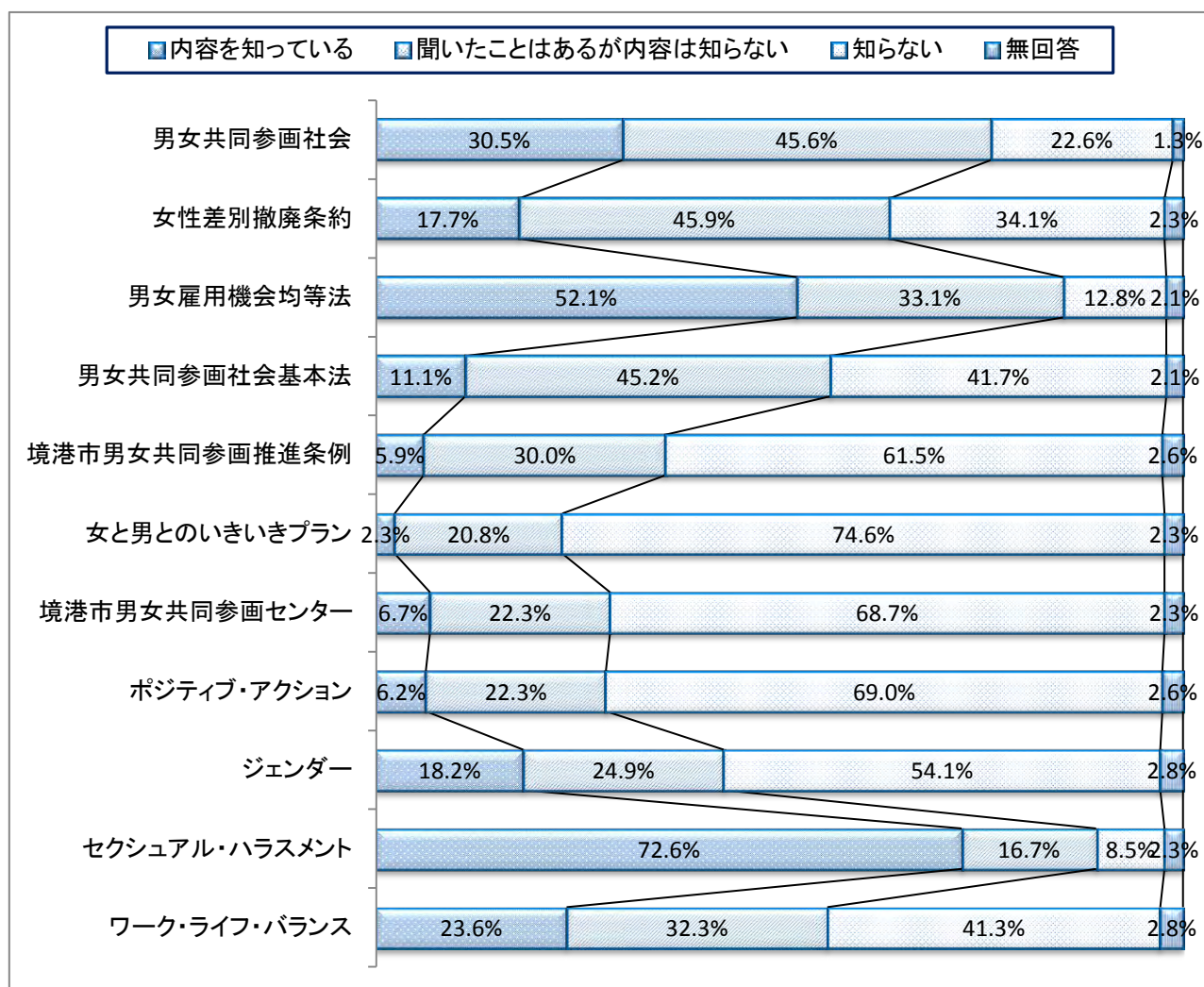


## Ⅱ 男女共同参画全般についておたずねします

【問8】あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

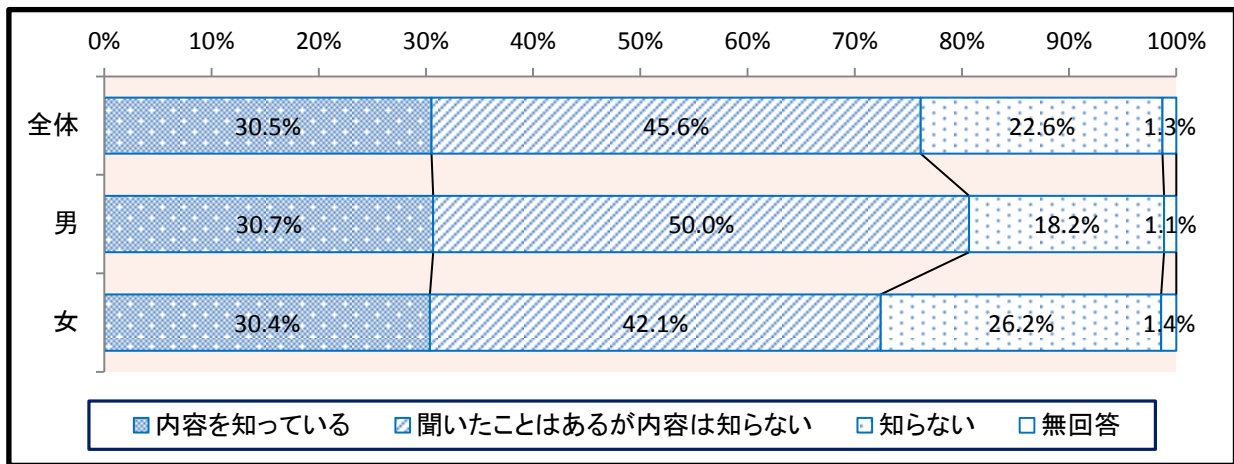
	項目	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
1	男女共同参画社会	30.5%	45.6%	22.6%	1.3%
2	女性差別撤廃条約	17.7%	45.9%	34.1%	2.3%
3	男女雇用機会均等法	52.1%	33.1%	12.8%	2.1%
4	男女共同参画社会基本法	11.1%	45.2%	41.7%	2.1%
5	境港市男女共同参画推進条例	5.9%	30.0%	61.5%	2.6%
6	女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン	2.3%	20.8%	74.6%	2.3%
7	境港市男女共同参画センター	6.7%	22.3%	68.7%	2.3%
8	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	6.2%	22.3%	69.0%	2.6%
9	ジェンダー(社会的性差)	18.2%	24.9%	54.1%	2.8%
10	セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	72.6%	16.7%	8.5%	2.3%
11	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	23.6%	32.3%	41.3%	2.8%



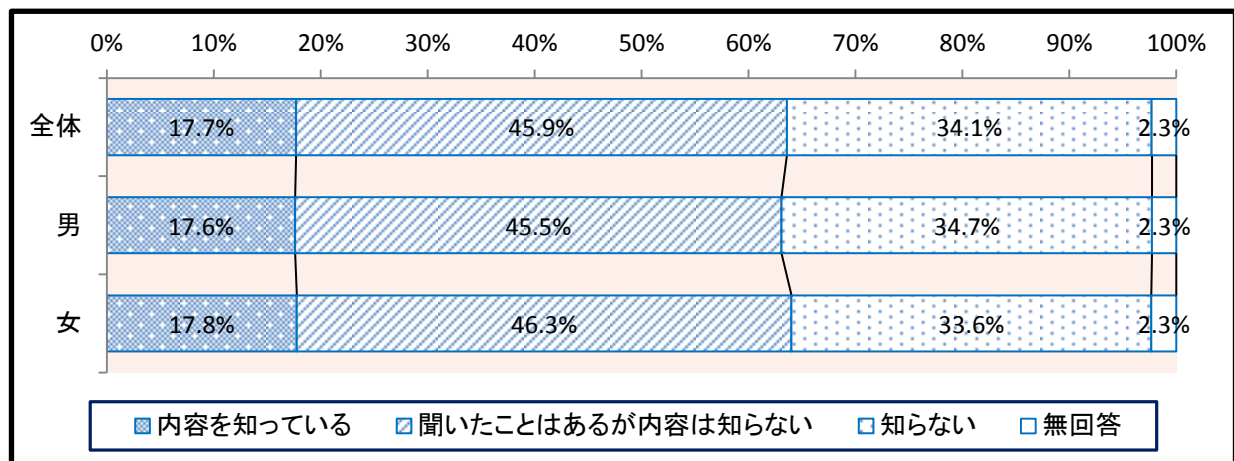
《分析》

- ◆「内容を知っている」割合は、『セクシャル・ハラスメント』（72.6%）が最も高い。次いで『男女雇用機会均等法』（52.1%）が高く、この2項目が5割を超えている。『境港市男女共同参画センター』（6.7%）、『境港市男女共同参画推進条例』（5.9%）、『女と男のいきいきプラン』（2.3%）は、いずれも1割未満となっている。
- ◆「聞いたことはあるが内容は知らない」割合は、『女性差別撤廃条約』（45.9%）、『男女共同参画社会』（45.6%）、『男女共同参画社会基本法』（45.2%）が、ほぼ横並びで高く、いずれも4割を超えている。
- ◆性別では、「内容を知っている」割合で、『男女雇用機会均等法』が、女性（47.2%）よりも男性（58.0%）が約10%高くなっているほかは、ほとんど違いは見られない。

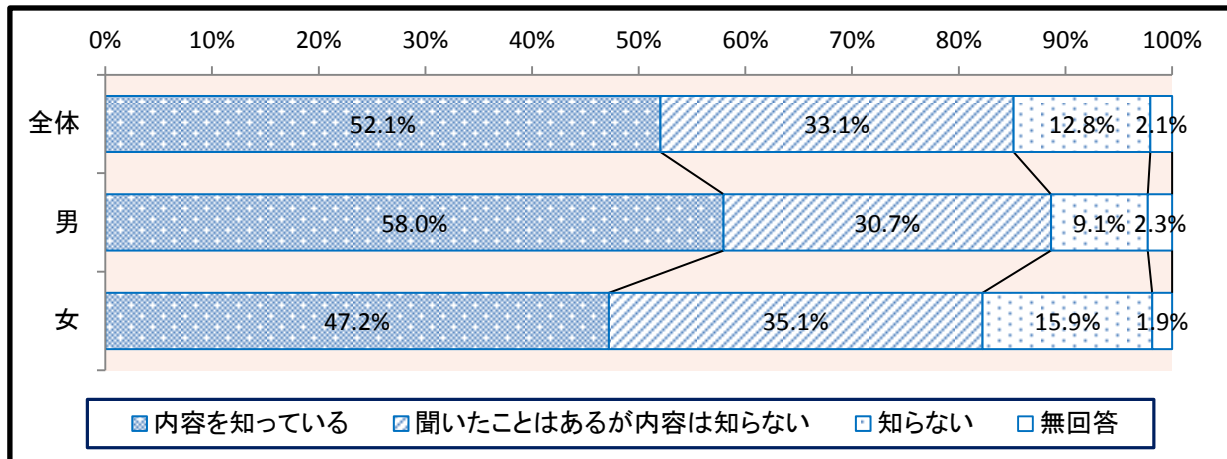
1 男女共同参画社会



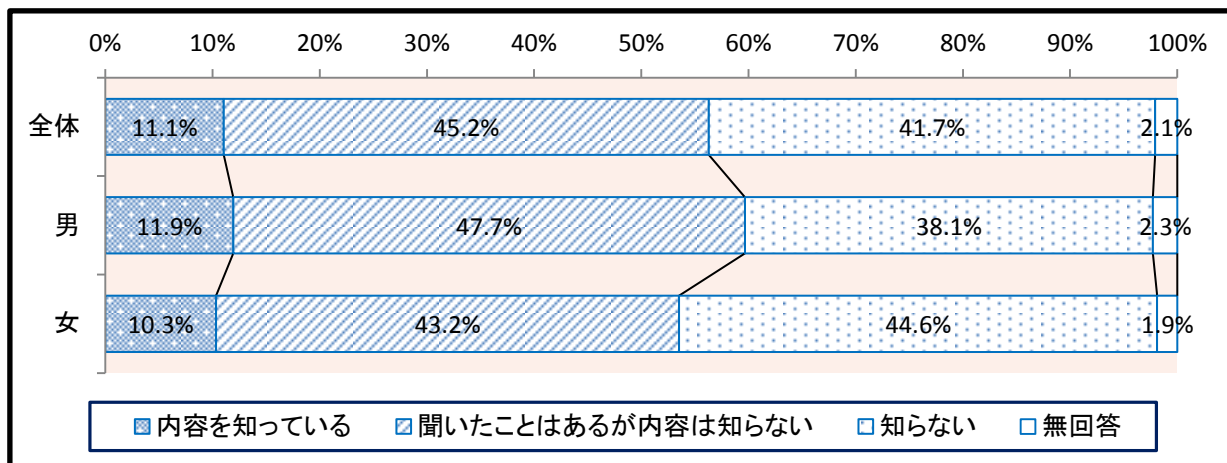
2 女性差別撤廃条約



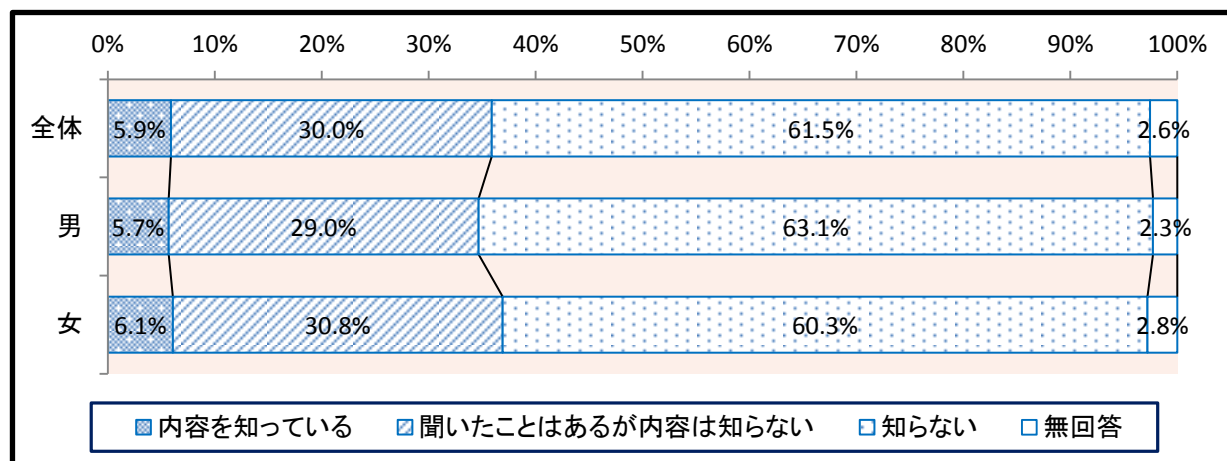
3 男女雇用機会均等法



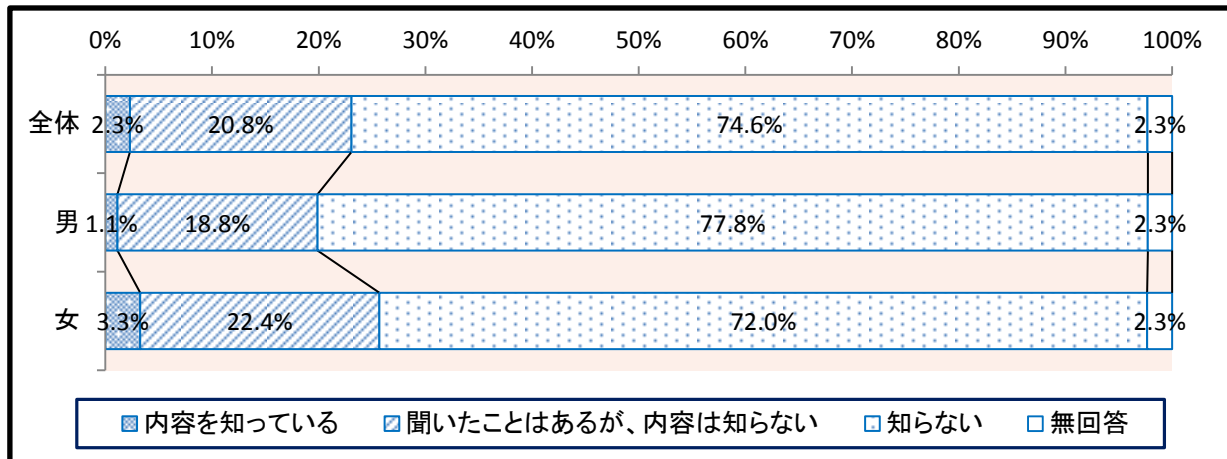
4 男女共同参画社会基本法



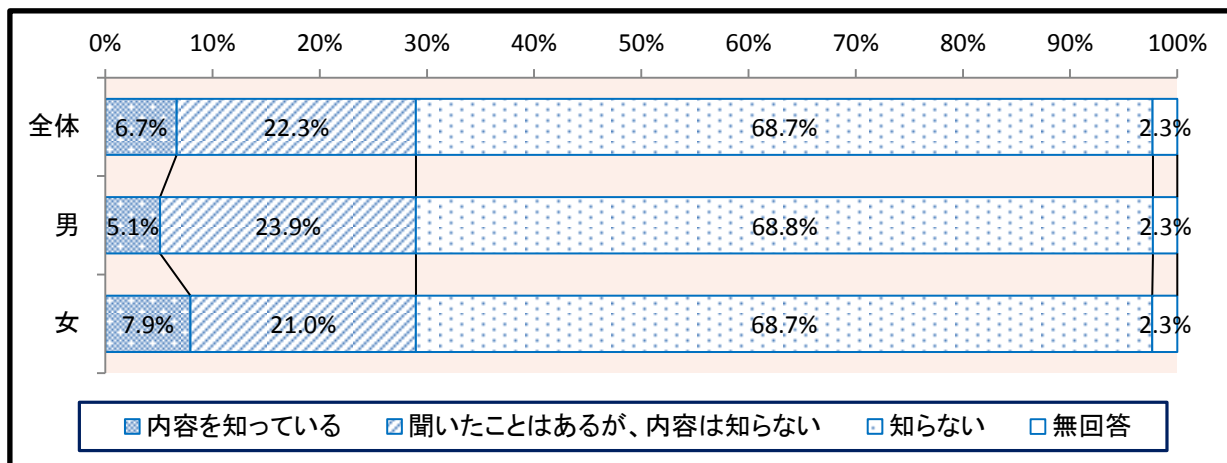
5 境港市男女共同参画推進条例



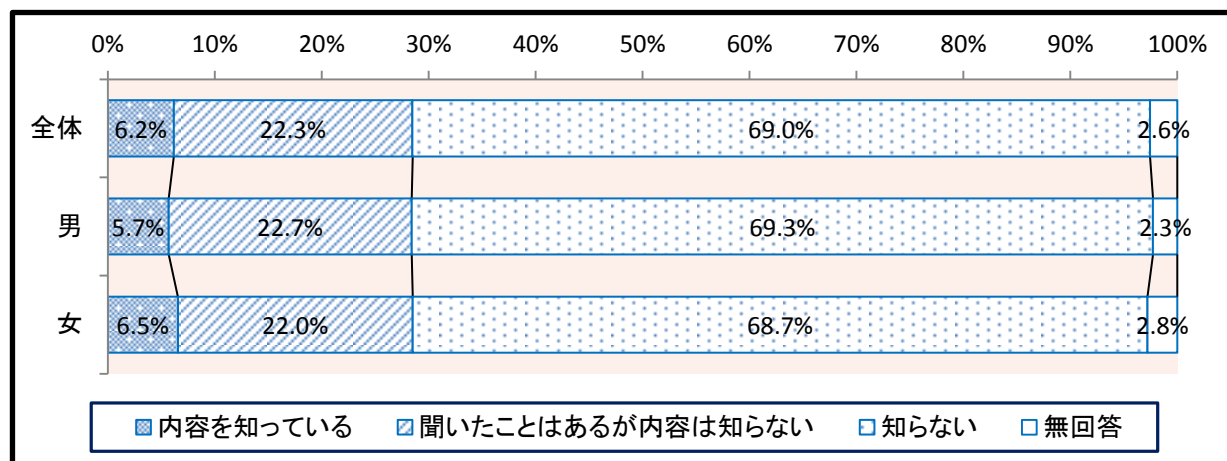
6 女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン



7 境港市男女共同参画センター

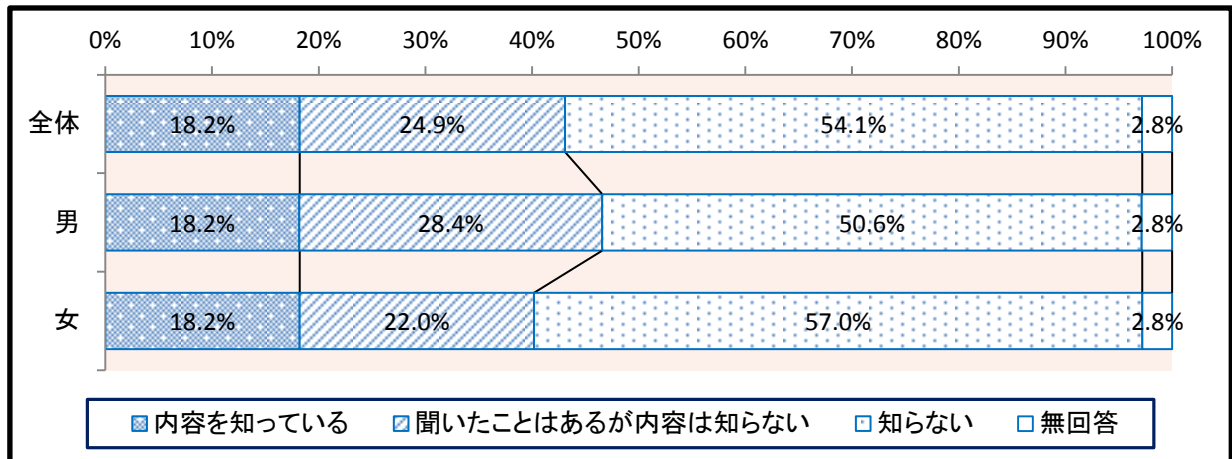


8 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



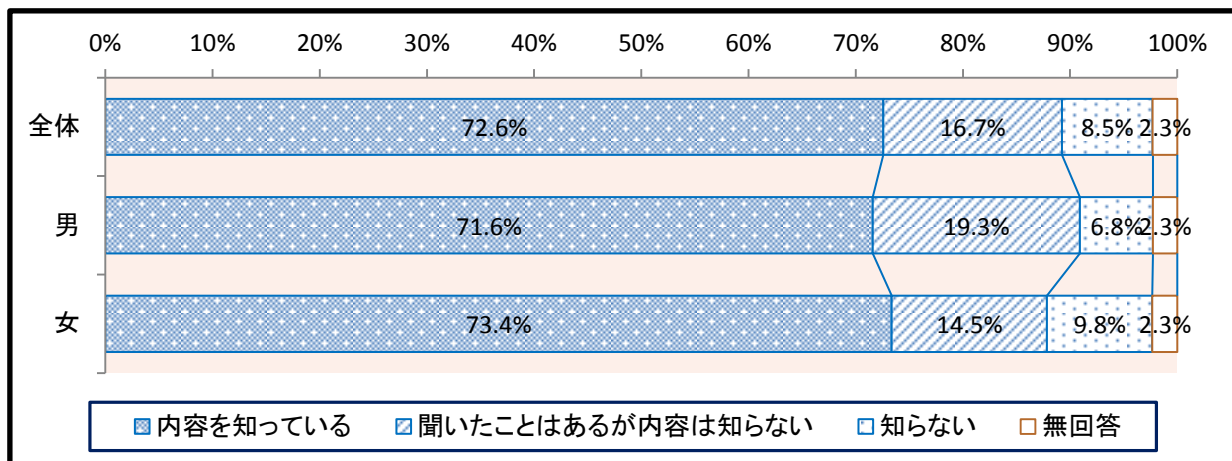
9

## ジェンダー(社会的性差)



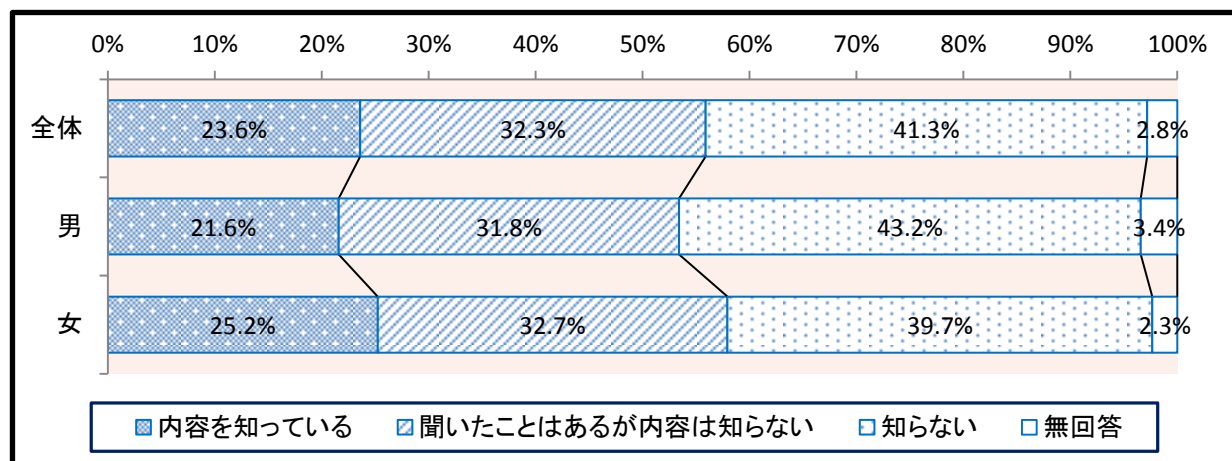
10

## セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)



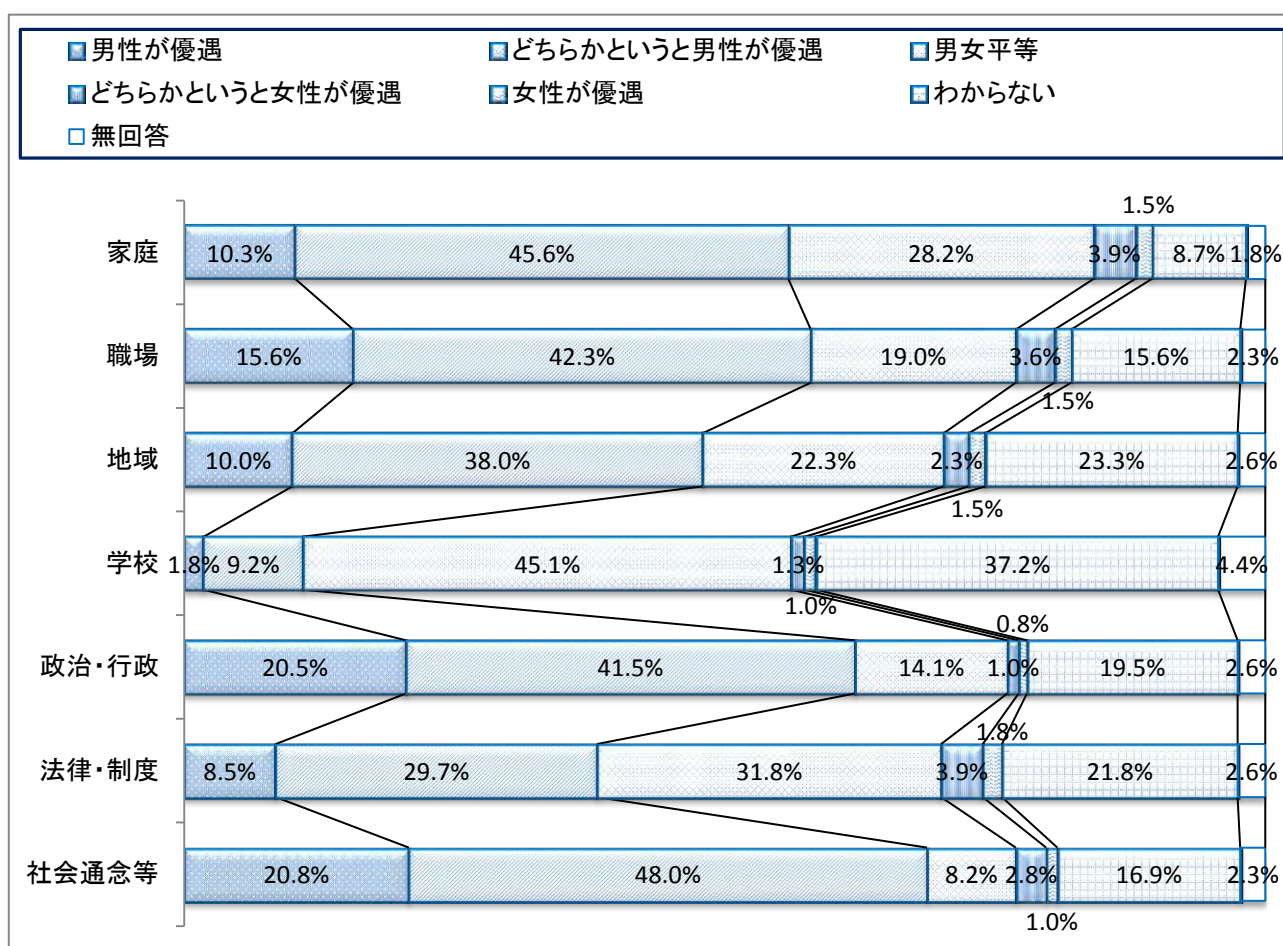
11

## ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



**【問9】 あなたは次の各項目の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。**  
**(〇はそれぞれ1つ)**

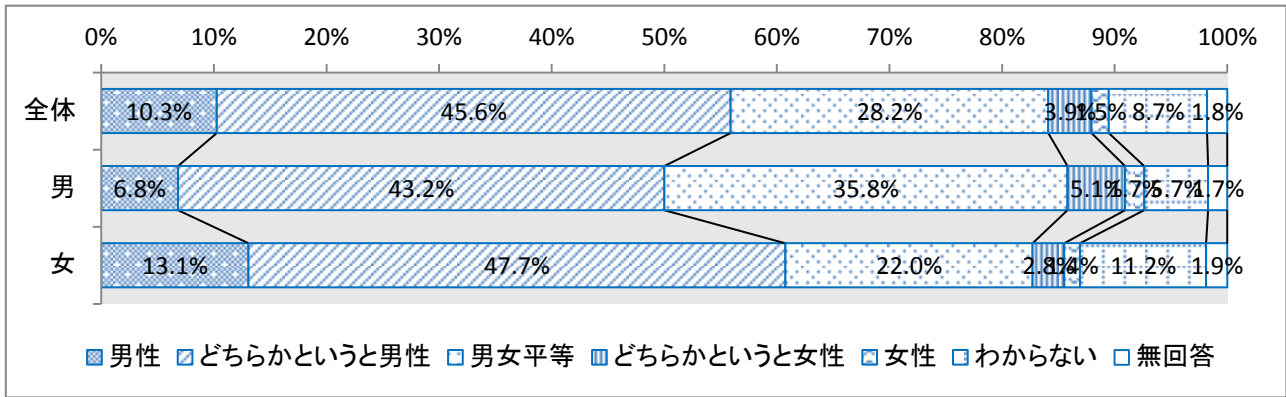
項目	男性が優遇	どちらかというと男性が優遇	男女平等	どちらかというと女性が優遇	女性が優遇	わからない	無回答
1 家庭で	10.3%	45.6%	28.2%	3.9%	1.5%	8.7%	1.8%
2 職場で	15.6%	42.3%	19.0%	3.6%	1.5%	15.6%	2.3%
3 地域で	10.0%	38.0%	22.3%	2.3%	1.5%	23.3%	2.6%
4 学校で	1.8%	9.2%	45.1%	1.3%	1.0%	37.2%	4.4%
5 政治や行政の場で	20.5%	41.5%	14.1%	1.0%	0.8%	19.5%	2.6%
6 法律や制度上で	8.5%	29.7%	31.8%	3.9%	1.8%	21.8%	2.6%
7 社会通念・慣習などで	20.8%	48.0%	8.2%	2.8%	1.0%	16.9%	2.3%



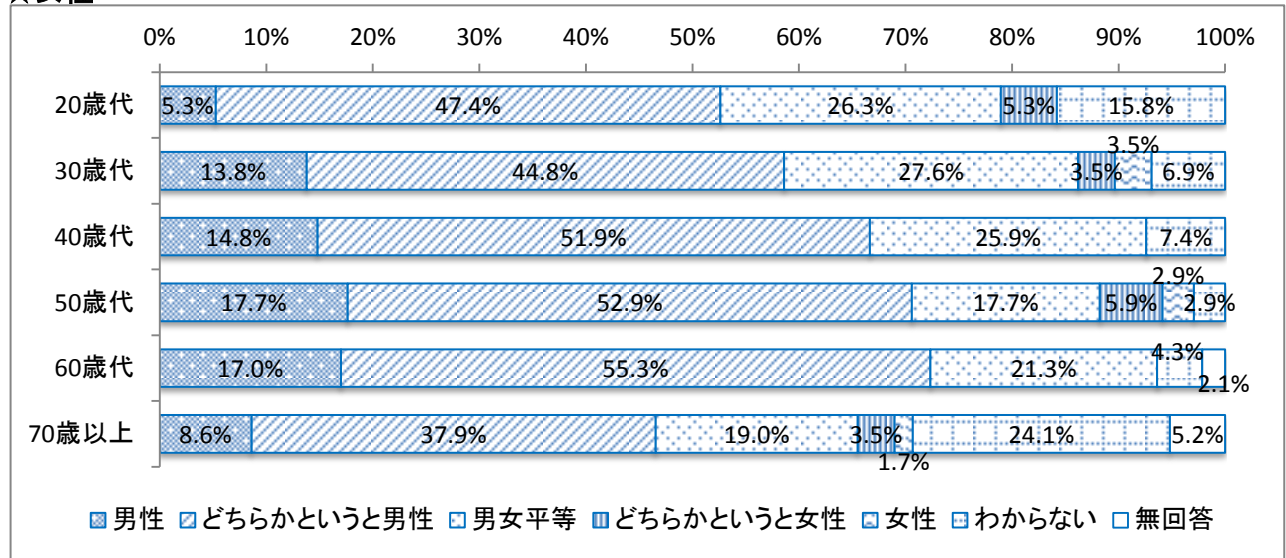
《分析》

- ◆ 「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、『家庭』（55.9%）、『職場』（57.9%）、『政治・行政』（62.0%）、『社会通念・慣習など』（68.8%）とほとんどの項目で高い。
- ◆ 「男女平等」の割合は、『学校』（45.1%）が最も高く、次いで『法律や制度上』（31.8%）、『家庭』（28.2%）となっている。
- ◆ 「どちらかというと女性が優遇」「女性が優遇」を合わせた割合は、すべての項目で6%未満となっている。

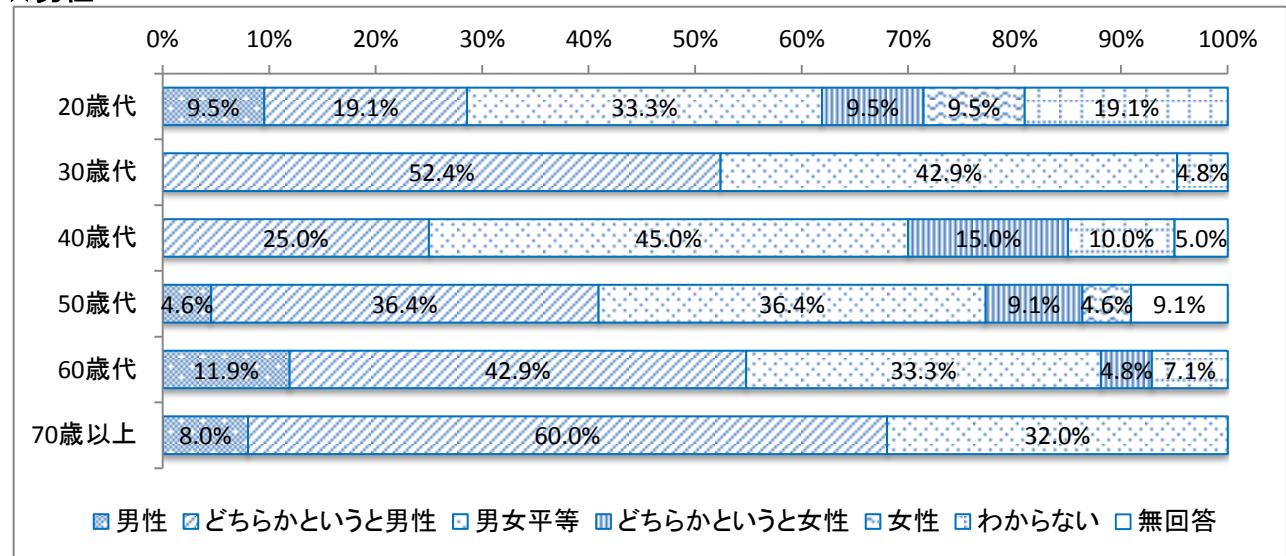
1 家庭で



★女性



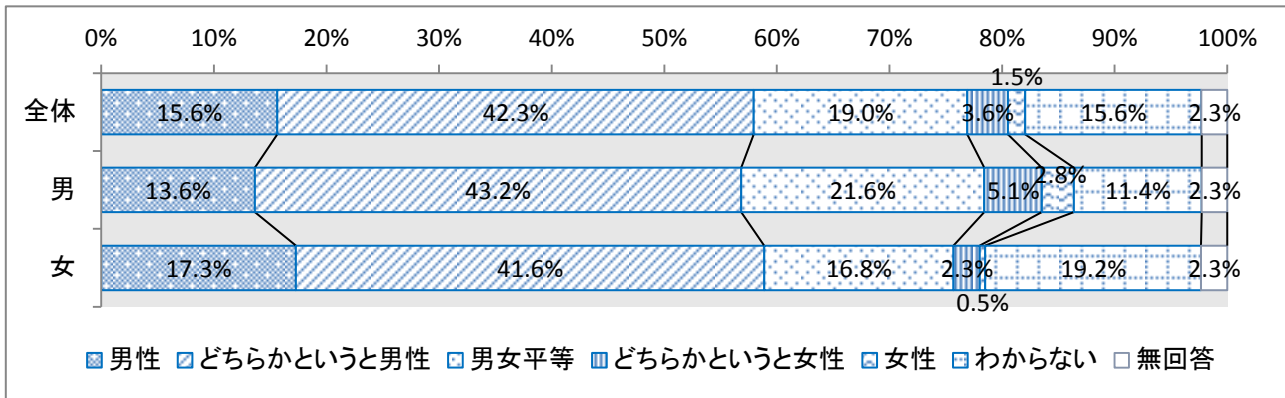
★男性



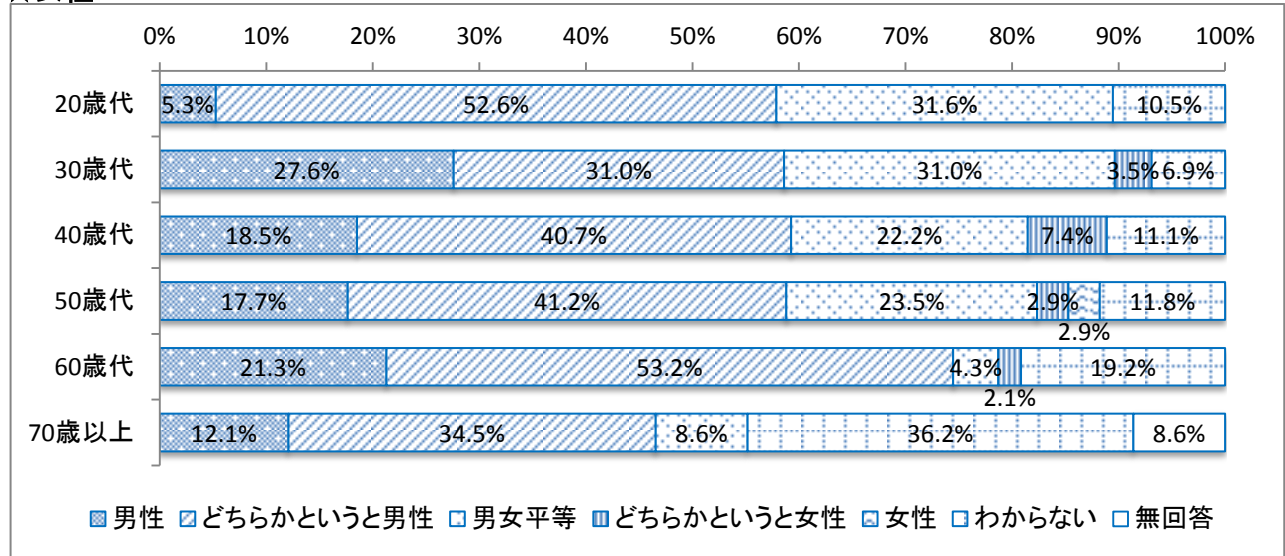
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では60.8%、男性では50%となっている。
- ◆「男女平等」の割合は、女性では22.0%、男性では35.8%となっている。

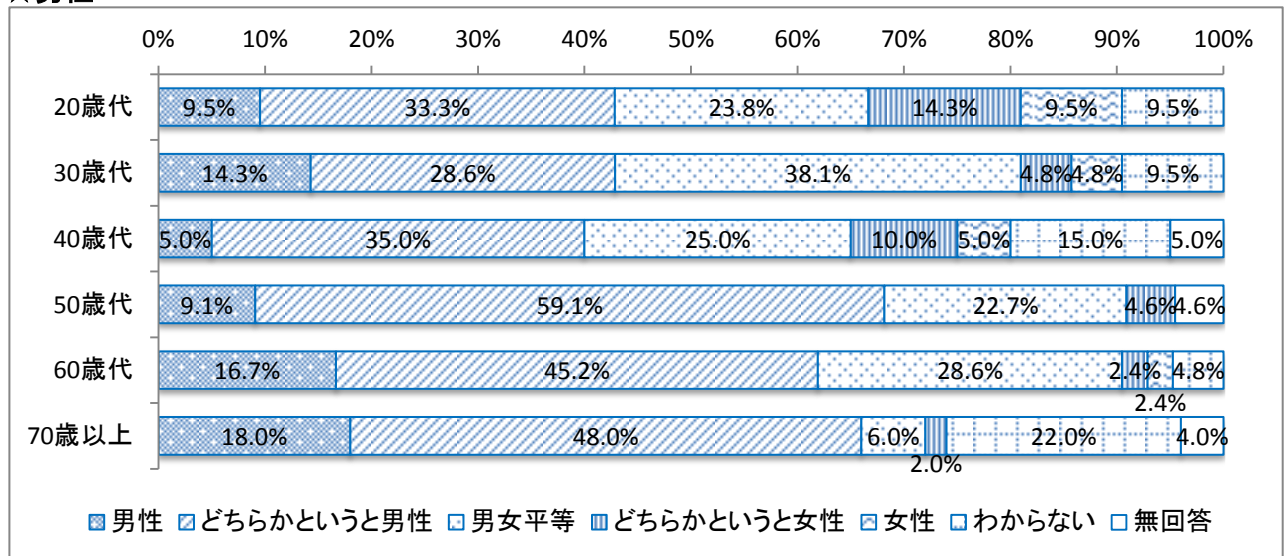
2 職場で



★女性



★男性

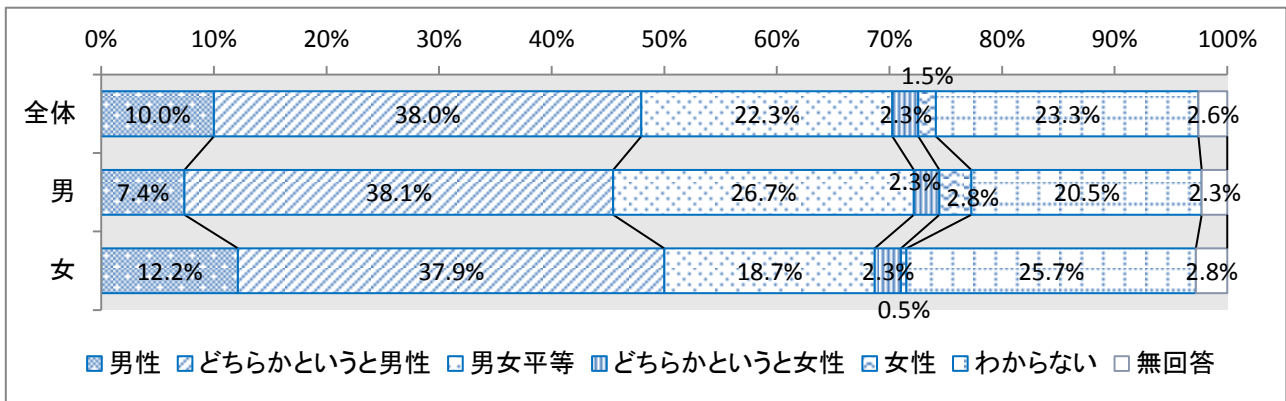


《分析》

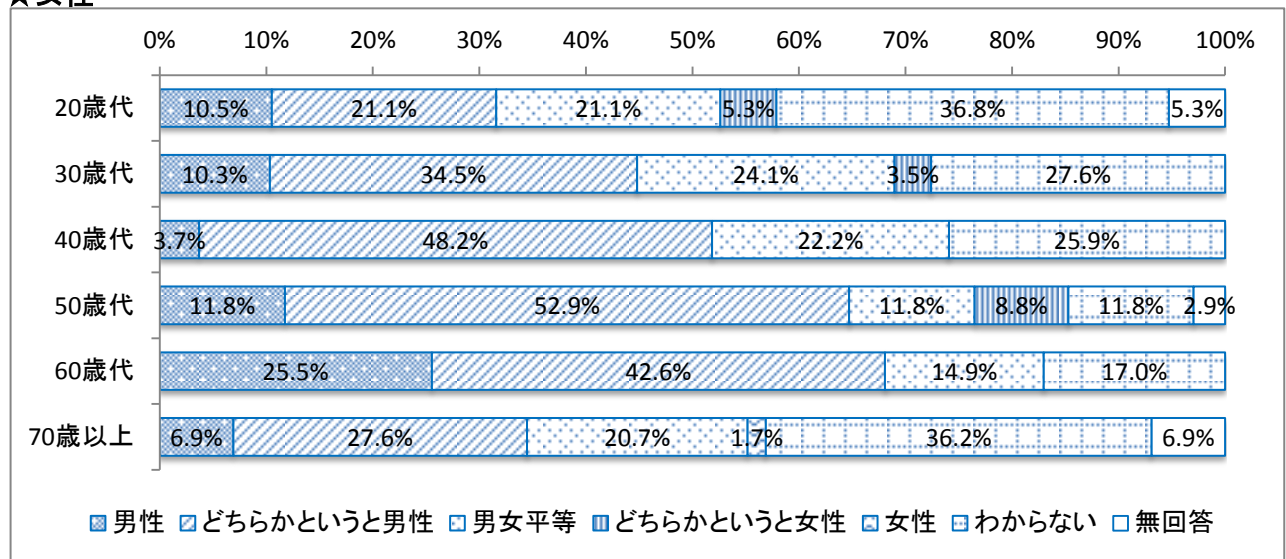
◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では70歳以上を除き、60%弱以上となっており、60歳代が74.5%と最も高い。男性では、50歳代以上が60%を超えており、20歳代～40歳代は40%となっている。



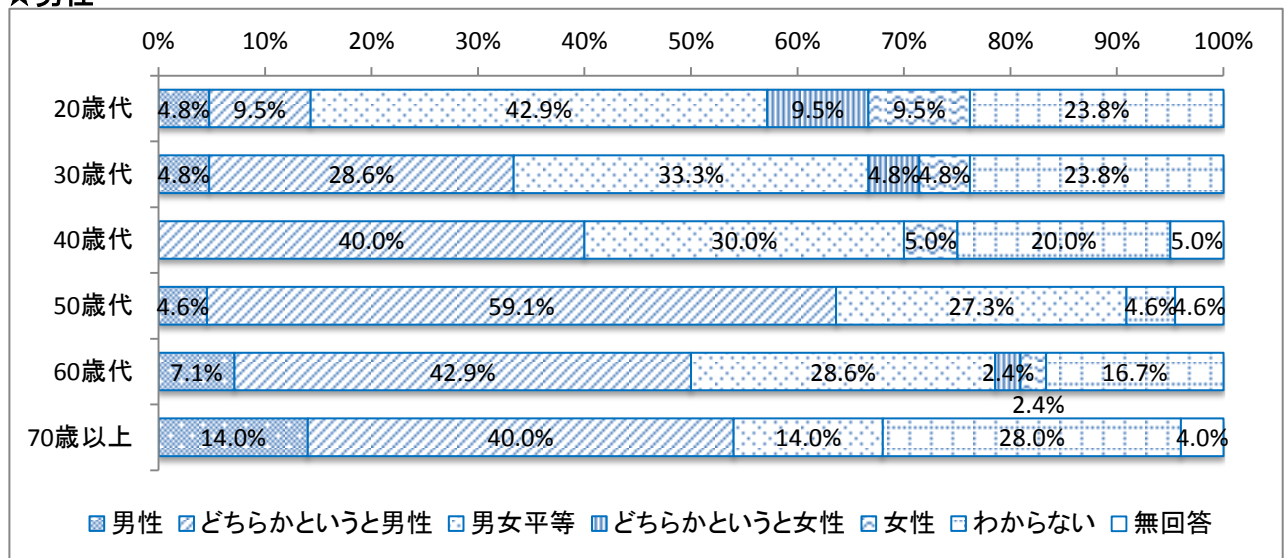
3 地域で



★女性



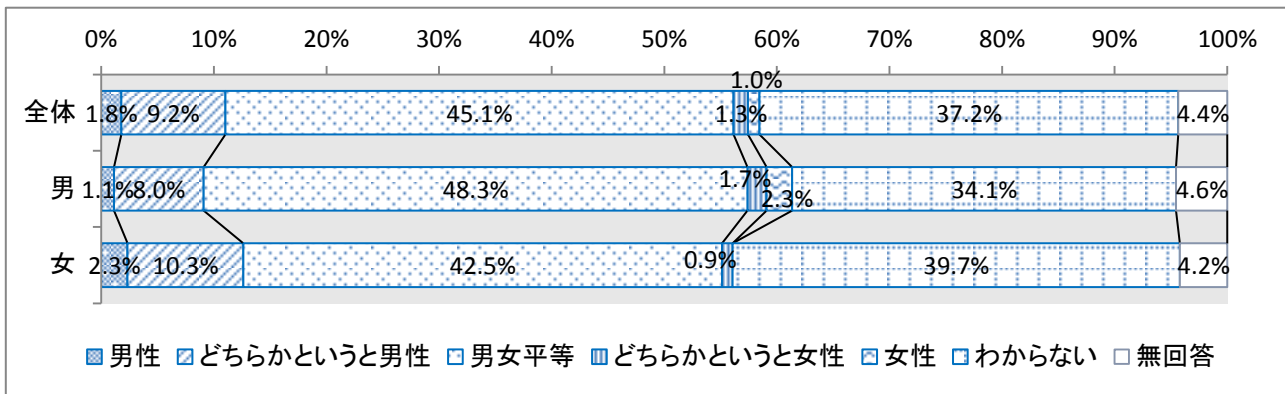
★男性



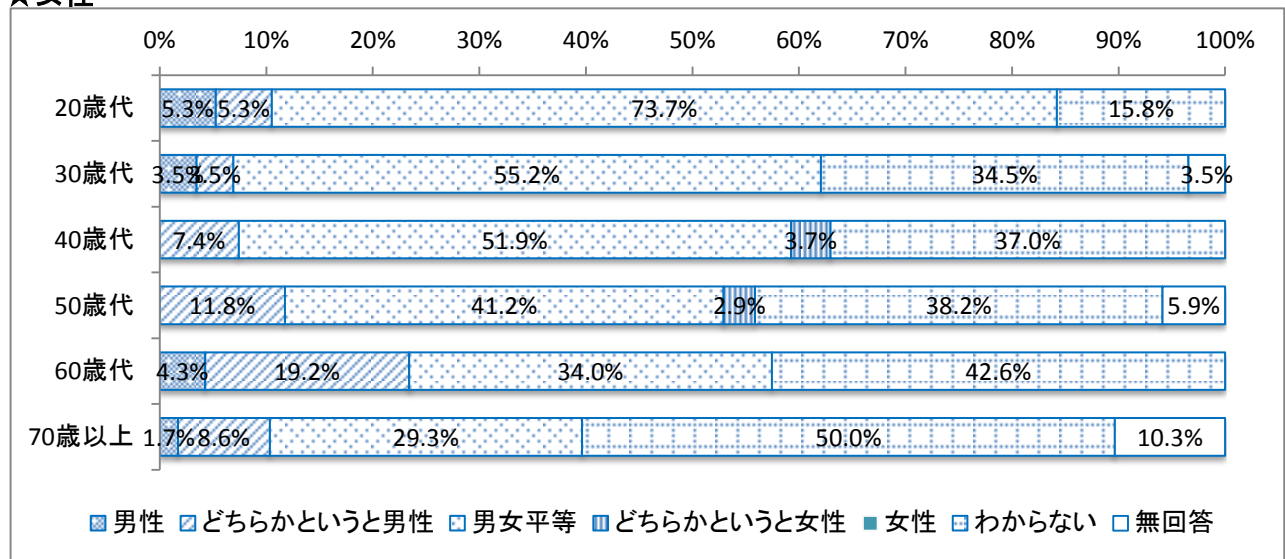
《分析》

- ◆「男性が優遇」の割合が、60歳代の女性では25.5%に対して、60歳代の男性では7.1%となっている。
- ◆「男女平等」の割合が、20歳代の女性では21.1%に対して、20歳代の男性では42.9%となっている。

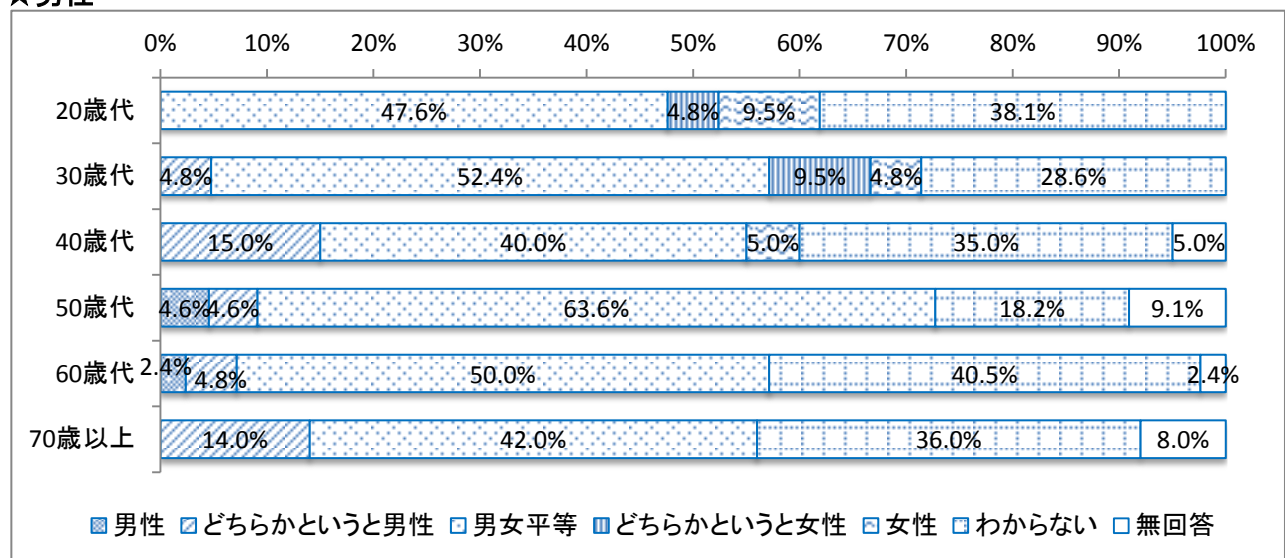
4 学校で



★女性



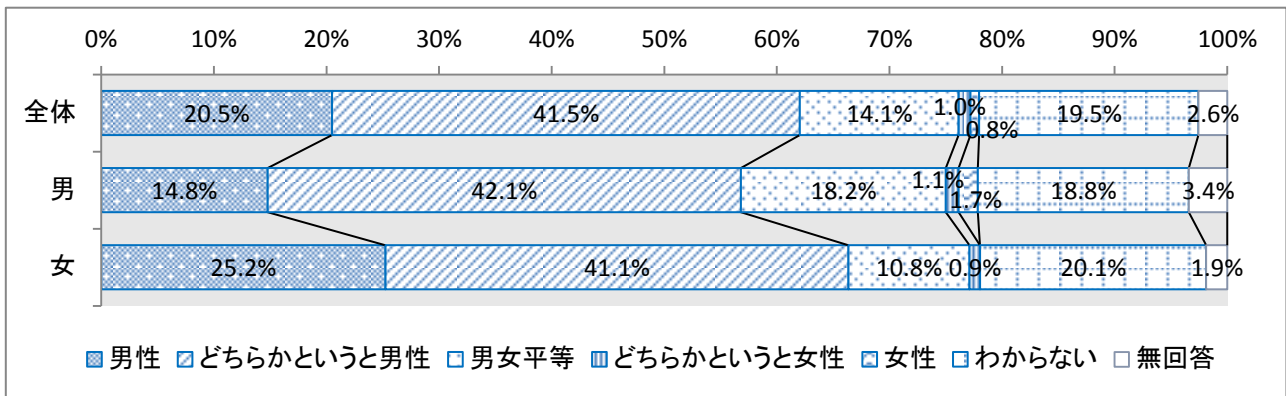
★男性



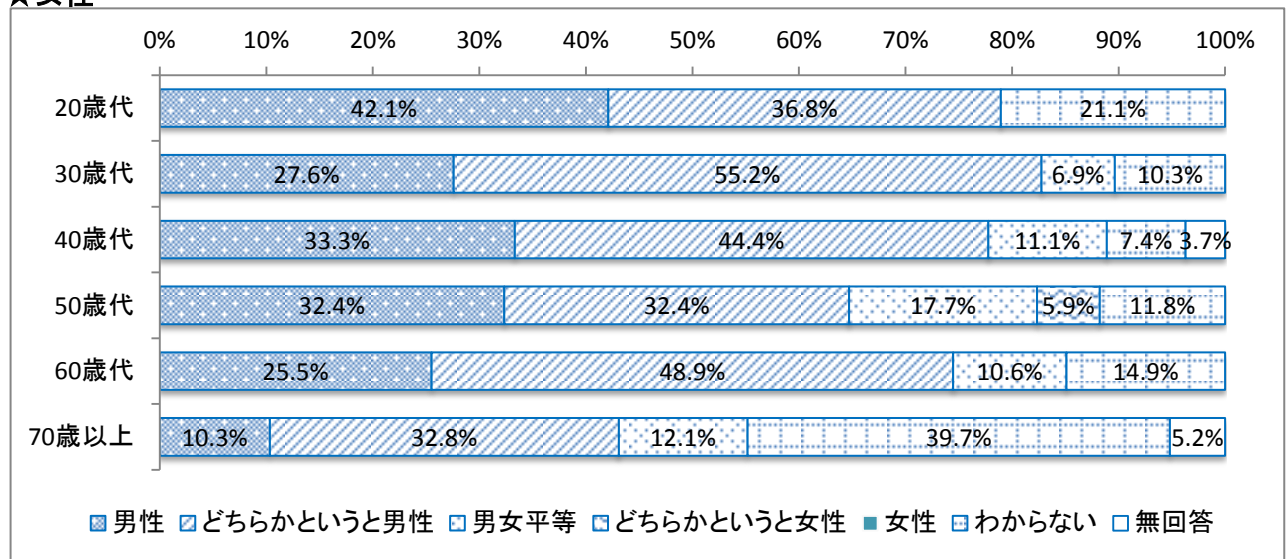
《分析》

- ◆他の場面と比べて、全体として「男女平等」の割合が45.1%と最も高い。
- ◆年齢別で、「男女平等」の割合は、30歳代を除いた各年代での男女の差異が、10%以上となっており、20歳代の差異は26.1%となっている。

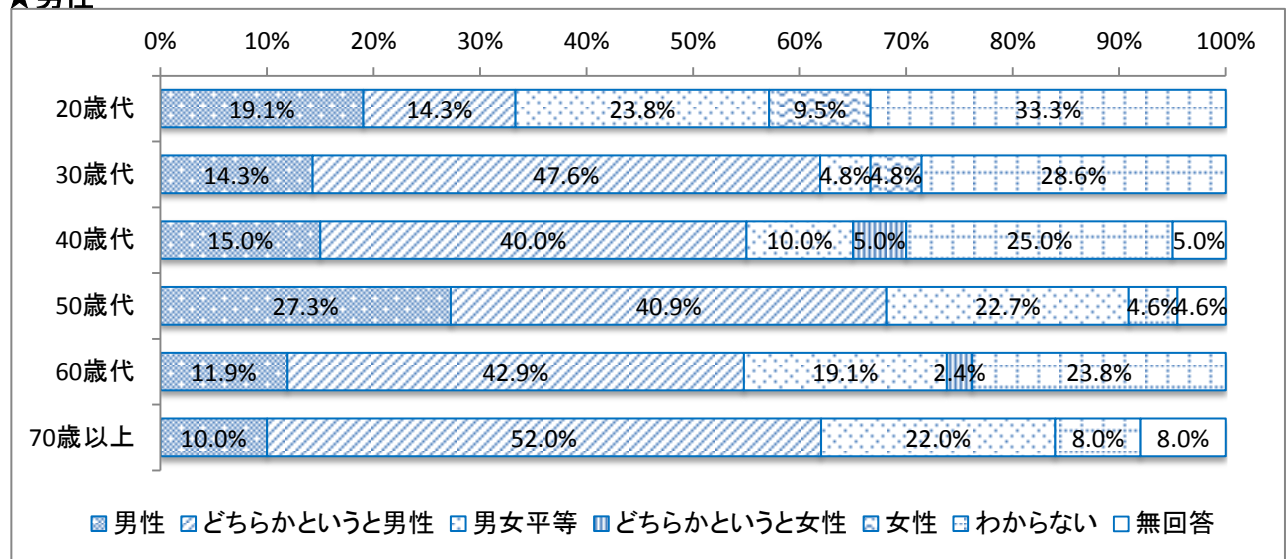
5 政治や行政の場で



★女性



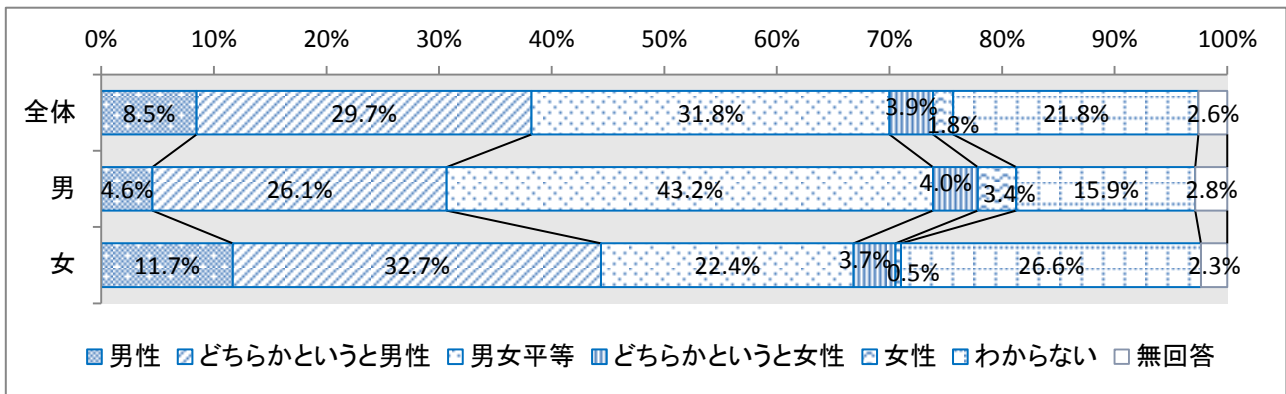
★男性



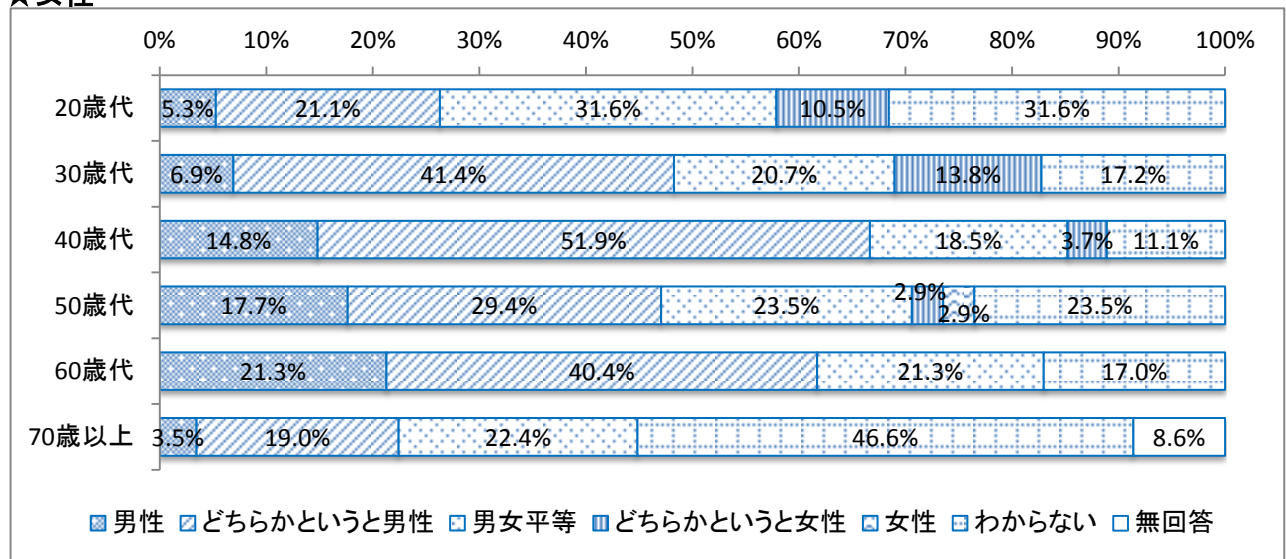
《分析》

- ◆「男性が優遇」の割合が、女性では25.2%、男性では14.8%となっている。
- ◆年齢別で、「男性が優遇」の割合は、50歳代と70歳以上を除いた各年代での男女の差異が、10%以上となっており、20歳代の差異は23.0%となっている。

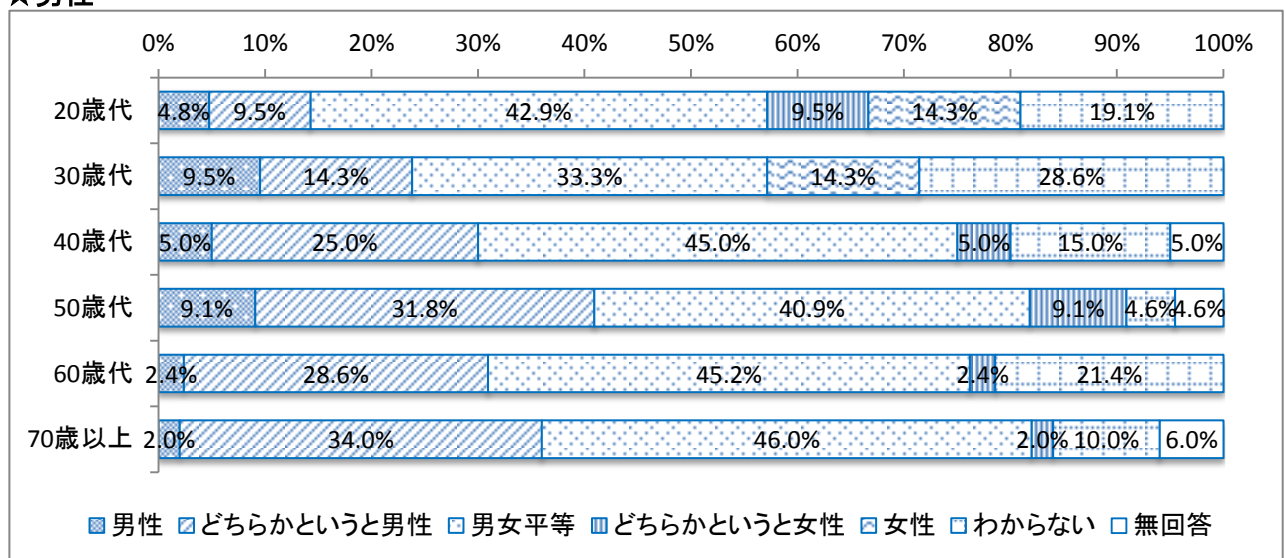
6 法律や制度上で



★女性



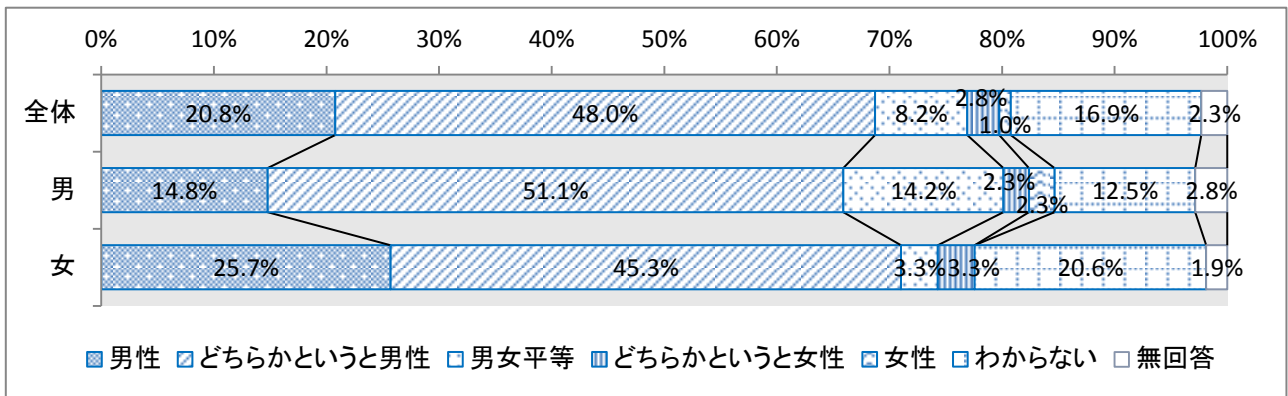
★男性



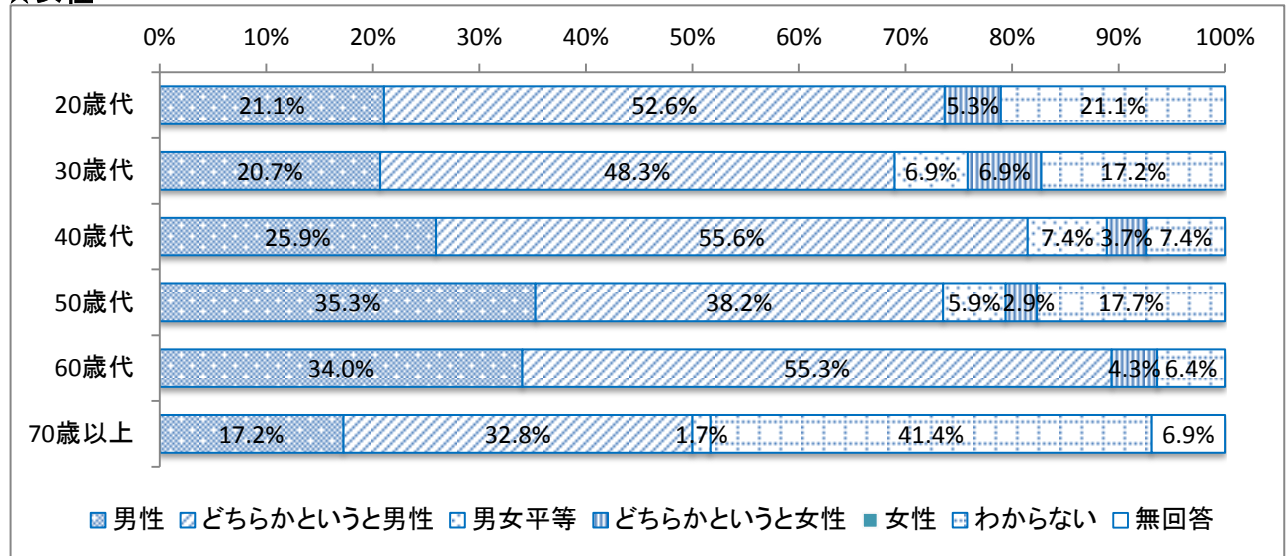
《分析》

- ◆「男女平等」の割合が、女性では22.4%、男性では43.2%となっている。
- ◆年齢別で、「男女平等」の割合は、すべての年代で男女の差異が、10%以上となっており、40歳代の差異は26.5%となっている。

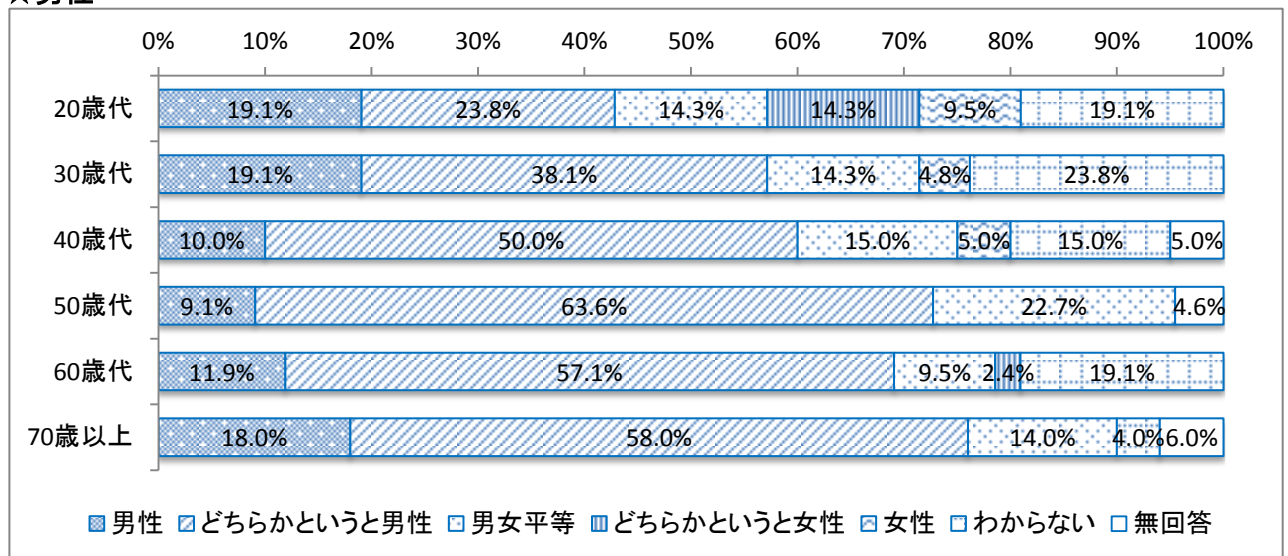
7 社会通念・慣習などで



★女性



★男性

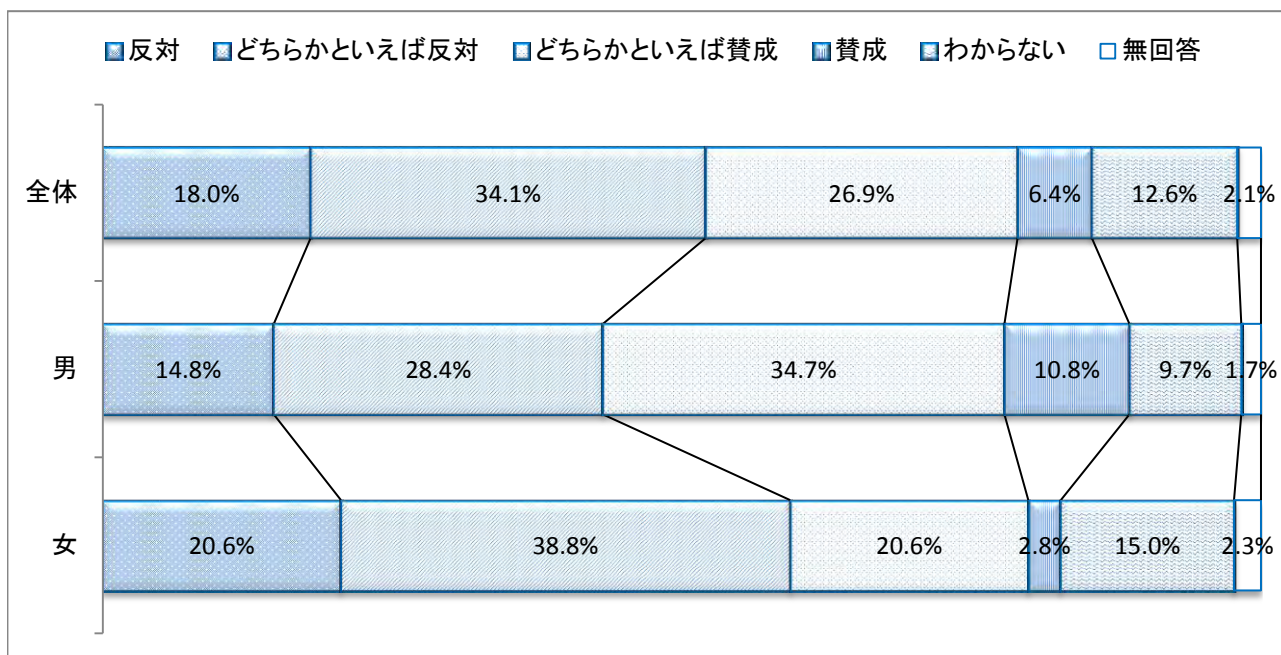


《分析》

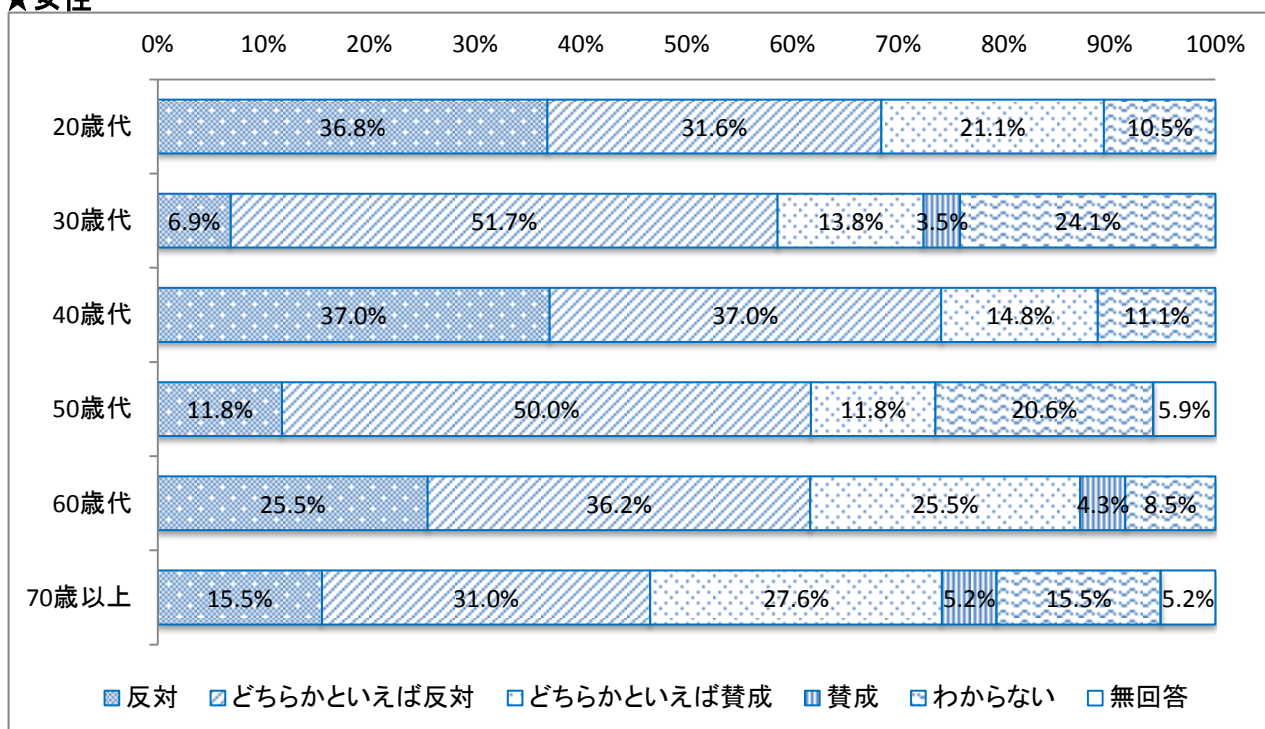
- ◆他の場面と比べて、全体として「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合が68.8%と最も高い。
- ◆年齢別で、「男性が優遇」の割合は、40～60歳代での男女の差異が、10%以上となっており、50歳代の差異は26.2%以上となっている。

【問10】「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか？（○は1つ）

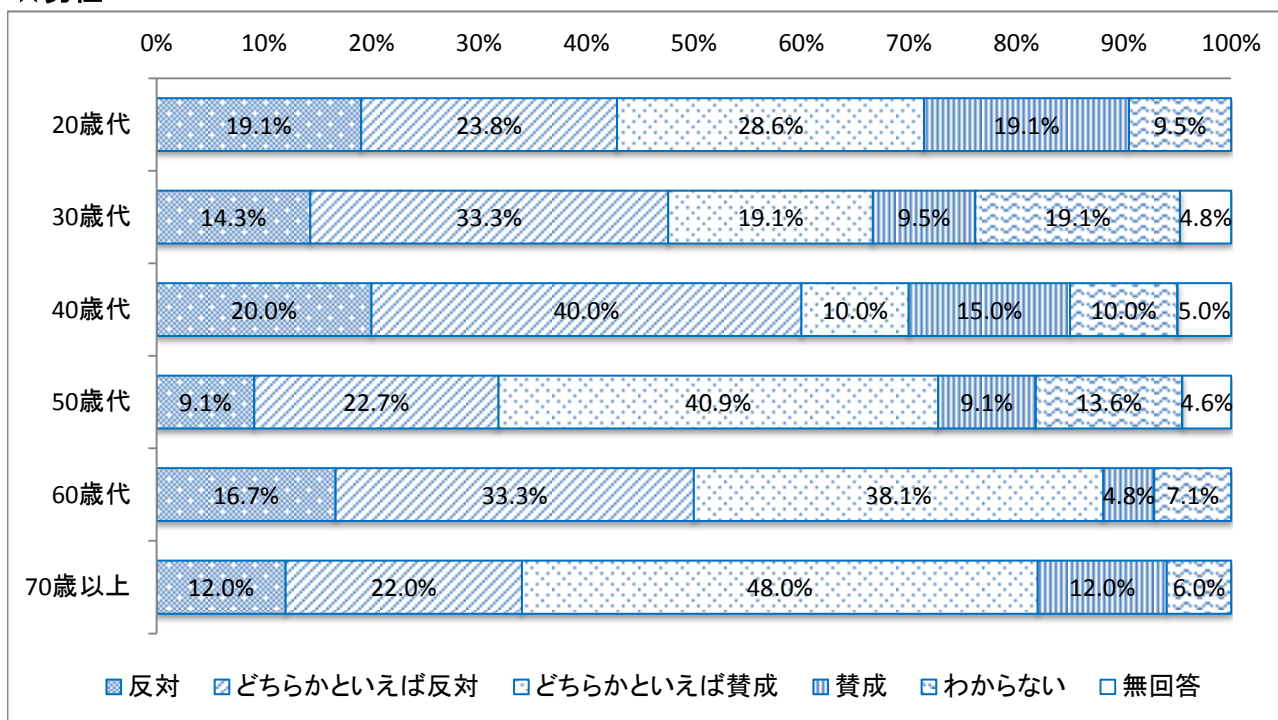
性別	反対	どちらかといえば反対	どちらかといえば賛成	賛成	わからない	無回答
全体	18.0%	34.1%	26.9%	6.4%	12.6%	2.1%
男	14.8%	28.4%	34.7%	10.8%	9.7%	1.7%
女	20.6%	38.8%	20.6%	2.8%	15.0%	2.3%



★女性



★男性

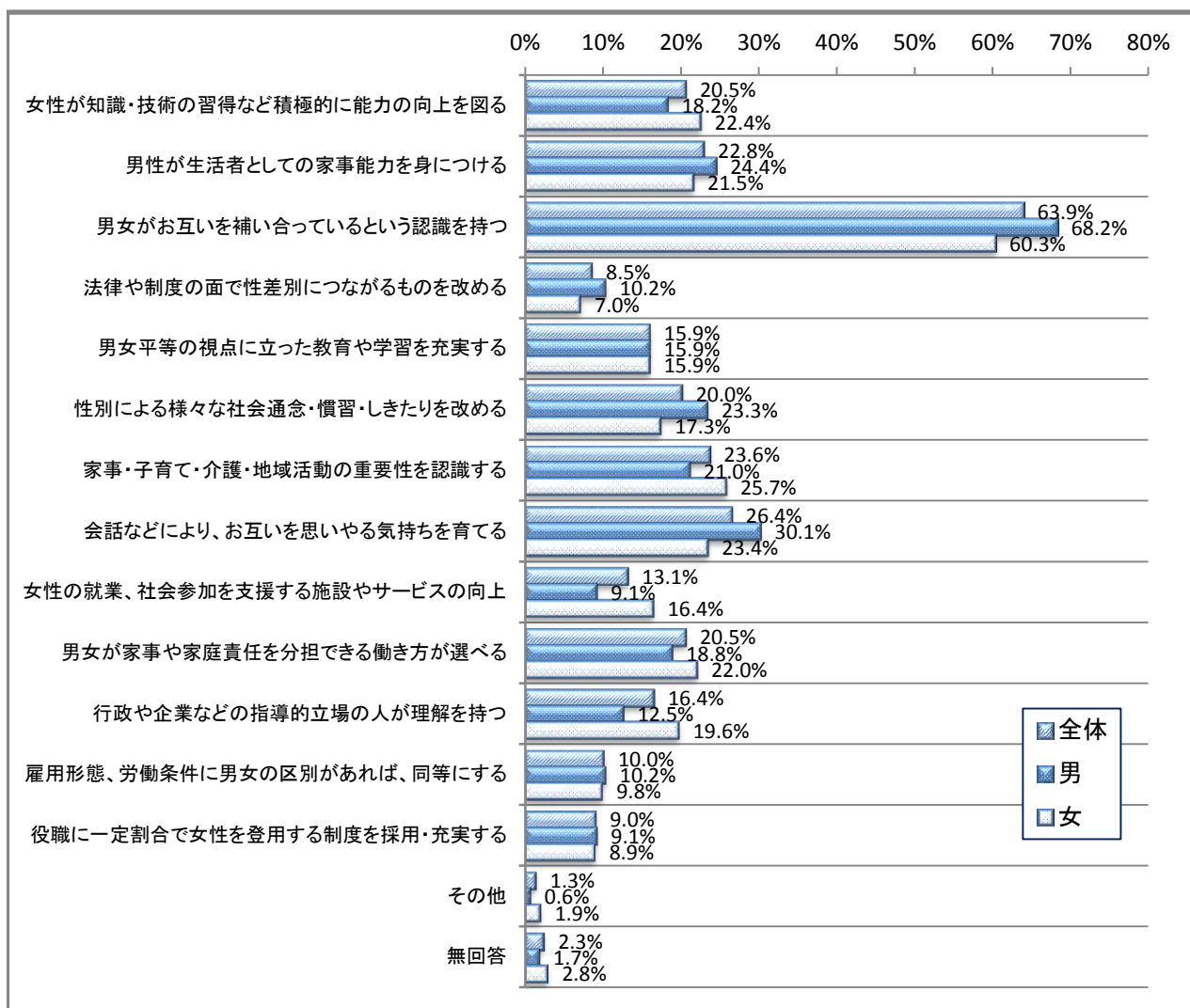


《分析》

- ◆「反対」「どちらかといえば反対」の割合が、52.1%と半数を超えている。
- ◆「反対」「どちらかといえば反対」の割合が、女性では59.4%、男性では43.2%となっている。
- ◆「どちらかといえば賛成」「賛成」の割合が、女性では23.4%、男性では45.5%となっている。
- ◆年齢別で、「反対」の割合が、20歳代と40歳代での男女の差異が10%以上となっており、20歳代では17.7%となっている。
- ◆年齢別で、「どちらかといえば賛成」の割合が、50歳代以上の各年代での男女の差異が10%以上となっており、50歳代では29.1%となっている。

**【問11】男女が平等な立場で協力しあっていくためには、どんなことが大切だと思いますか？**  
 (〇は3つまで)

	項目	全体	男	女
1	女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る	20.5%	18.2%	22.4%
2	男性自身が生活者としての家事能力を身につける	22.8%	24.4%	21.5%
3	男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ	63.9%	68.2%	60.3%
4	法律や制度の面で見直しを行い、性差別につながるものを改める	8.5%	10.2%	7.0%
5	男女平等の視点に立った教育や学習を充実する	15.9%	15.9%	15.9%
6	性別による様々な社会通念・慣習・しきたりを改める	20.0%	23.3%	17.3%
7	家事・子育て・介護・地域活動についても、重要性を認識する	23.6%	21.0%	25.7%
8	会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる	26.4%	30.1%	23.4%
9	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの向上	13.1%	9.1%	16.4%
10	労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方が選べる	20.5%	18.8%	22.0%
11	行政や企業などの指導的立場の人が理解を持つ	16.4%	12.5%	19.6%
12	雇用形態、労働条件に男女の区別があれば、同等にする	10.0%	10.2%	9.8%
13	行政や企業などの役職に一定割合で女性を登用する制度を採用・充実する	9.0%	9.1%	8.9%
14	その他	1.3%	0.6%	1.9%
15	無回答	2.3%	1.7%	2.8%





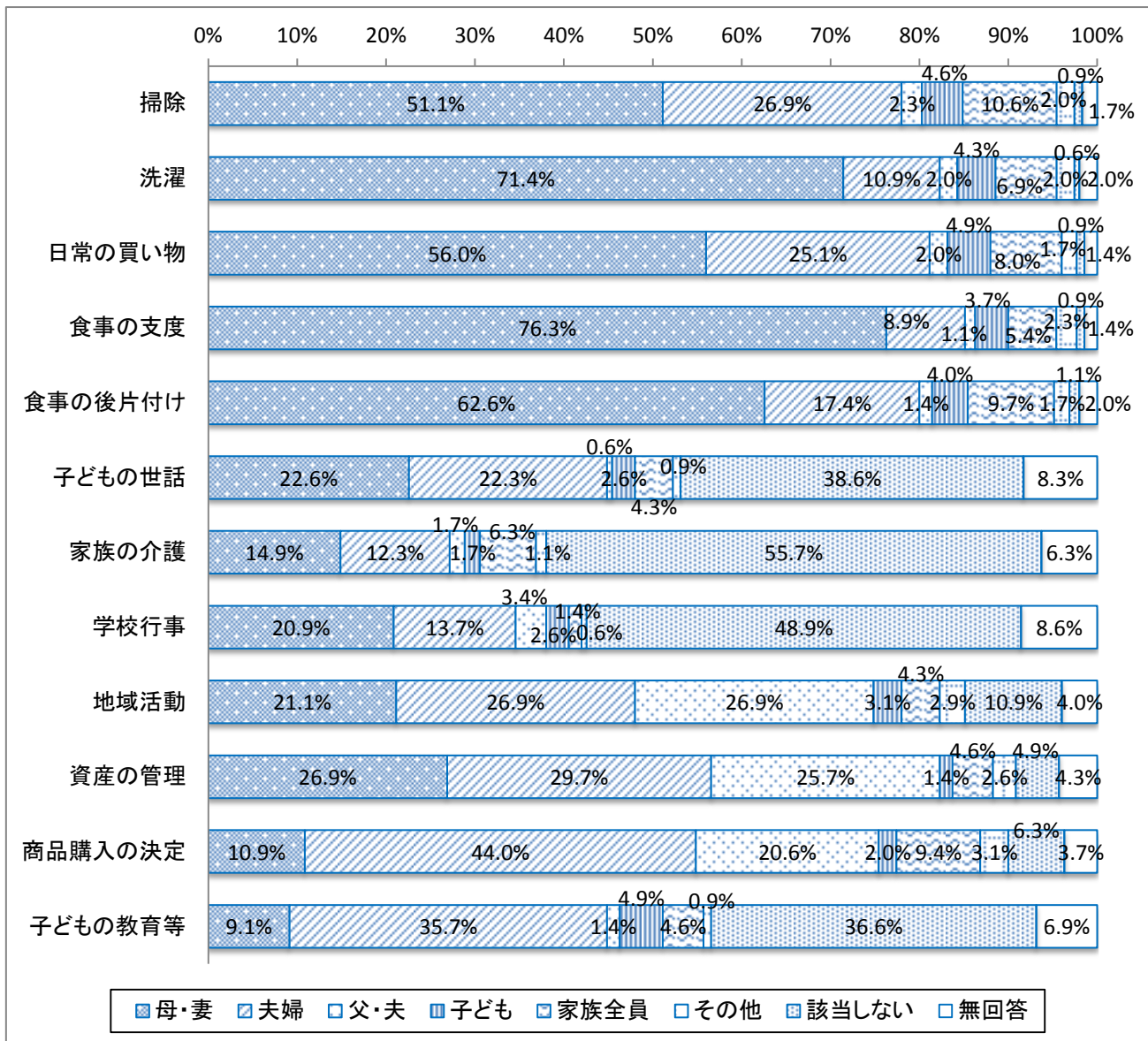
## 《分析》

- ◆全体として、「男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ」の割合が63.9%と、突出して高くなっている。
- ◆次いで割合が高いのは、女性では「家事・子育て・介護・地域活動についても、重要性を認識する」(25.7%)、「会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる」(23.4%)、「女性が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど積極的に能力の向上を図る」(22.4%)、「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方が選べる」(22.0%)、「男性自身が生活者としての家事能力を身につける」(21.5%)となっており、以上の項目で20%を超えている。  
男性では、「会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる」(30.1%)、「男性自身が生活者としての家事能力を身につける」(24.4%)、「性別による様々な社会通念・慣習・しきたりを改める」(23.3%)、「家事・子育て・介護・地域活動についても、重要性を認識する」(21.0%)となっている。
- ◆性別で、全項目について、女性と男性の差異が10%未満となっている。

### 【問12】 普段の生活において次の事柄をあなたのご家庭では、主にどなたが行っていますか。□ (○はそれぞれ1つ)

(構成比%)

項目	母・妻	夫婦	父・夫	子ども (※)	家族 全員	その他	該当 しない	無回答
1 掃除	51.1%	26.9%	2.3%	4.6%	10.6%	2.0%	0.9%	1.7%
2 洗濯	71.4%	10.9%	2.0%	4.3%	6.9%	2.0%	0.6%	2.0%
3 日常の買い物	56.0%	25.1%	2.0%	4.9%	8.0%	1.7%	0.9%	1.4%
4 食事の支度	76.3%	8.9%	1.1%	3.7%	5.4%	2.3%	0.9%	1.4%
5 食事の後片付け	62.6%	17.4%	1.4%	4.0%	9.7%	1.7%	1.1%	2.0%
6 子どもの世話	22.6%	22.3%	0.6%	2.6%	4.3%	0.9%	38.6%	8.3%
7 家族の介護	14.9%	12.3%	1.7%	1.7%	6.3%	1.1%	55.7%	6.3%
8 PTA等学校行事への参加	20.9%	13.7%	3.4%	2.6%	1.4%	0.6%	48.9%	8.6%
9 自治会活動等の地域活動	21.1%	26.9%	26.9%	3.1%	4.3%	2.9%	10.9%	4.0%
10 資産の管理	26.9%	29.7%	25.7%	1.4%	4.6%	2.6%	4.9%	4.3%
11 高価な商品購入の決定	10.9%	44.0%	20.6%	2.0%	9.4%	3.1%	6.3%	3.7%
12 子どもの教育・就職	9.1%	35.7%	1.4%	4.9%	4.6%	0.9%	36.6%	6.9%



### 《分析》

- ◆全体として、ほぼすべての項目で、「母・妻」と「夫婦」に割合が集中している。
- ◆「母・妻」の割合は、『食事の支度』（76.3%）、『洗濯』（71.4%）、『食事の後片付け』（62.6%）、『日常の買い物』（56.0%）、『掃除』（51.1%）の順で高くなっている。
- ◆「夫婦」の割合は、『高価な商品購入の決定』（44.0%）、『子どもの教育・就職』（35.7%）、『資産の管理』（29.7%）、『掃除』（26.9%）、『自治会活動等の地域活動』（26.9%）の順で高くなっている。
- ◆「父・夫」の割合は、『自治会活動等の地域活動』（26.9%）、『資産の管理』（25.7%）『高価な商品購入の決定』（20.6%）の順で高くなっている。
- ◆「子ども」・「その他」の割合は、10%を超えている項目がない。
- ◆「家族全員」の割合は、『掃除』（10.6%）が最も高い。